

ニコニコ箱

ありがとうございます

野井 晋さん	吉田篤生さん、アントレプレナー大賞、受賞おめでとうございます。	細川 竜二さん	吉田篤生君、アントレプレナー大賞おめでとうございます。
村田 昌之さん	吉田幹事さん「アントレプレナー大賞」受賞おめでとうございます。	片岡 聖佳さん	吉田篤生君、アントレプレナー大賞おめでとうございます。
田原 久一さん	日中友好で3,000名の中に参加しました。楽しかったし友人も出来ました。	山本 進三さん	吉田幹事、本日は卓話ご苦労さまです。楽しみにしています。
松田 洪毅さん	吉田さん今年度幹事として一年間大変ご苦労様でした。	吉田 篤生さん	下手くそな話ですが、よろしくお願ひします。
角谷 芳伸さん	本日の卓話よろしくお願ひします。	亀田 直紀さん	篤ちゃん新聞見れた。おめでとう!
榎畑 友洋さん	本日、幹事卓話ありがとうございました。産経新聞見ました。		
乾 敦雄さん	吉田幹事、アントレプレナー大賞おめでとうございます。		
	卓話楽しみにしています。		
	吉田幹事様、卓話楽しみです。		
	またアントレプレナー大賞おめでとうございます。		

阪神タイガース応援団一同
昨夜は、良かった。

本日の累計 29,000円(計12名 13件) [お誕生日お祝い 506,000円 皆出席表彰 40,000円 その他 1,579,550円 累計額 2,125,550円]

クラブ名	日 時	内 容
和歌山城南R.C.	6月 4日(木)	
和歌山南R.C.	6月 5日(金)	第4回I.D.M.発表
和歌山中R.C.	6月 5日(金)	第4回I.D.M.発表
和歌山北R.C.	6月 8日(月)	卓話「マイナンバー制度の概要について」和歌山税務署 署長 岡本 一郎さん
和歌山アゼリアR.C.	6月 8日(月)	次年度第2回クラブ協議会
和歌山R.C.	6月 9日(火)	卓話「消臭力」エステートレーディング(株) 部長 藤田 克己さん、課長 山上 正勝さん
和歌山西R.C.	6月10日(水)	ライラセミナーに参加して 和歌山大学留学生の皆様
和歌山東南R.C.	6月10日(水)	年間活動報告①

本日の例会 6月4日(木) **前回の例会** 5月28日(木)

■ **クラブフォーラム「I.D.M. 年間報告」**
 ■ **ピアノ演奏** 中井 利枝さん
 SECRET LOVE (S.Fain)
 YOU ARE TOO BEAUTIFUL (R.Rodgers)

■ **卓話「この1年をふりかえって」** 幹事 吉田 篤生さん
 ■ **ロータリーソング** 「いざ友よ」 内畑 瑛造 ソング委員長
 ■ **ビジター紹介** 木下 智仁 親睦委員
 橋本R.C. 石脇 正雄さん

次回の例会 6月11日(木) **メイキャップ** 敬称略

■ **卓話** 産経新聞和歌山支局 次長 小畑 三秋さん

5月23日(土) I.M. 第3組 山本 進三、吉田 篤生、中山 恒夫、笹島 良雄、木下 智仁
 5月29日(金) 高野山R.C. 笹島 良雄
 6月 2日(火) 和歌山R.C. 村田 昌之

出席報告 会員数 43名(内出席規定適用免除会員13名) 5月28日(本 日) 25名/36名 69.4%
 内畑 瑛造 出席委員長 5月14日(メイキャップ後) 27名/35名 77.1% **皆さん、出席してください。**

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073)424-9392 例会日 木曜日 12時30分
 事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845
 創立/1959年2月23日 会報(広報・IT)委員会 瀧川 嘉彦 吉増 亨 伊東 伸夫 林 毅

良くしよう！ 今できることを精一杯

2014~2015年度 和歌山東ロータリーのテーマ

2015年6月4日(木)
週報/VOL.56 No.43
(通巻2683)

「ロータリーに輝きを」LIGHT UP ROTARY 2014~2015年度 国際ロータリーのテーマ

国際ロータリー第2640地区 **和歌山東ロータリークラブ** URL: <http://www.werc.jp> E-mail: info@werc.jp

会長報告 山本 進三 会長



皆さんこんにちは。
 5月に入ってから、あっという間に暑くなって参りました。
 個人的には寒いより暑い方が苦手なのですが、夏になると日が長くなり、木々や昆虫など生物が生き生きと活動を始め、アウトドアで気持ちよく汗を流す機会も多くなり、何か明るい気持ちになるのは私だけでしょうか。

経済情勢においてもアベノミクスが夏を呼んできているのでしょうか。大手企業の決算が軒並み増収・増益を計上し、東証一部の時価総額もバブル期を上回り、591兆3007億円に達しました。

「バブル越え」と聞くと、どうしても警戒感を拭えないイメージがありますが、当時に比べ上場銘柄数が約60%増加していることから、さほど心配した状況ではないようです。

問題は、公共事業等に関係しない多くの内需型の中小企業が充分にその恩恵を享受できていないどころか、円安による原材料の高騰でかえって利益率が下がる事態に陥っていることですが、これは賃上げ等による一般家庭の所得の底上げが行き届き、以前のように皆がインフレに慣れることが必要で、そのような経済の好循環が動き始めるまでには、まだまだ時間がかかりそうです。今しばらく我慢が必要でしょうね。

さて先日、理事・役員会の了承を得て、市内9クラブの連名でガバナーエレクトを新たに選任する要請書の呼びかけを行いました。

結果として、この呼びかけに賛同したクラブは地区70クラブ中、53クラブ。7割以上の賛成でRIへ提出手続きを完了したようです。

今後、RIがどの様な判断を下すか分かりませんが、現状を改善するため、地区内のクラブが精一杯協力した画期的な成果だと思います。

あとは人事を尽くして天命を待つのみですね。

今日の卓話は吉田幹事です。演題は「1年間でふりかえって」。どの様なお話をいただけるのか、楽しみです。本日もよろしくお願ひします。

幹事報告 吉田 篤生 幹事

- ・和歌山R.C.から先般の合同例会の御礼状をいただいております。……………回覧
- ・和歌山北R.C.から第3組I.M.の御礼状をいただいております。……………回覧
- ・スナードイクマエより、スナードイクマエ通信が届いております。……………回覧
- ・先日のネパールの地震に対して、当クラブからは2640地区を通じて50,000円の寄付をいたしましたので、ご了承ください。
- ・昨年度、和歌山公園動物園に写真つきのパネルを寄贈した際、合わせて動物園サポーターの登録をしておりました。それが5月末をもって終了しますので、更新の手続きをいたしました。



ご連絡 **赤井 雅哉 次期幹事**
 本日、例会終了後4Fにて次期理事・役員会を開催いたします。
 次期理事・役員の皆様はよろしくお願ひいたします。

卓話 「この1年をふりかえって」

2014—2015年度 幹事 吉田 篤生さん



みなさんこんにちは、今期幹事を仰せつかっております吉田です。

いよいよ今期も残すところあとひと月となりました。ちょうど良いタイミングで松田プログラム委員長のほうから卓話の機会を頂きましたので、この一年を振り返りながら近況報告をさせていただきます。

近況

先日(5/19)和歌山県経営者協会からアントレプレナー大賞を頂きました。アントレプレナー賞とは、県内で革新的な起業家精神で新しい事業展開に挑戦する企業や経営者を表彰して下さる賞とのことです。

今回、吉田染工が評価されたのは父親の代に導入した染色の自動化プラントの完成、運用。そしてそこからの新たな展開として海外販売を視野に入れた製品事業への挑戦があります。

吉田染工は1948年に私の祖父が、和歌山市御園町で創業し、その後1953年に法人化された糸染めの会社です。創業当初は、カセとよばれる糸を束ねた状態で染色する方法で、当時流行していたアクリルの肌着用の糸を染色していたと聞いています。いわゆるラクダの肌着やバッチが中心でした。

その後、私の父親の代になった時には、仮面ライダーやアニメのプリントシャツが爆発的に売れた時代だったそうで、その染色用の糸や、染め上った糸を積むトラックが、工場(当時の自宅も敷地内にあった)の周りを囲むように停まっていたのを子供心に覚えています。この頃から機械化、近代化をすすめて、現在の貴志川の用地を購入したり、染色設備をカセからチーズ染色という、より量産化・工業化に向けた染色機械に入れ替えたりしています。

昭和47年には、糸の染色に加え、子会社の貴志川工業をつくりニット生地染色も始めました。

そうして規模を大きくしていったのですが、翌昭和48年のオイルショックはそうとう厳しかったらしく、エネルギー使用量の削減には常に敏感でした。

その時の思いから、効率的なエネルギー使用と、そして染工場に入社して以来の課題である3Kの撲滅の為に、父親が手掛けたのが染色工程の自動化でした。

当時、仕事の範囲を超えて懇意にしていた染色機械メーカーの課長と夢の工場・未来の染工場をつくらうと取り組んだプロジェクトでした。時代はバブル景気の真っ最中でした。新工場の完成とほぼ同じ時期にバブルがはじけた為、追従する染工場は残念ながらなかったのですが、吉田染工は未来の染工場として生まれ変わることが出来ました。バブル崩壊後20年以上経ちますが、恥ずかしながら業界内では、いまだ最新の工場と呼ばれています。

この自動化プラントによって、3Kと言われた労働環境は撲滅できたと思いますが、それより大きい効果は効率的にエネルギーを使用できるようになったことと、その後今まで続く、そしてこれからも続くであろう多品種・小ロット・短納期への対応が容易に出来たことでした。この設備が完成した8年後、病で父は帰らぬ人となるのですが、この工場設備においては、やりきった充実感をもっていました。

それでも経営環境は否が応でも移り変わってきました。

環境の変化の中で、和歌山のニット組合の有志と海外販路を開拓する事業もしました。

海外販路開拓の事業を踏まえ、今やっているのはこれまでの資産、強みを生かし、弊社自身でもう一歩足を踏み出そうということです。もう一歩というのは、自社での製品開発及び単独での海外販路の開拓です。今まではお客様の糸を預かり、染色してお返し加工賃を頂くという委託加工のみの業態でしたが、これからは自社発信・自社提案の案件を増やす。まず何を売るのか。技術を売りたい。その為糸の染色加工の品質をアピールする為、製品の形で提案したい。そのために島精機のホールガーメント編み機を購入しました。糸があれば編み機から製品が出てくるという機械です。この機械を使い弊社で加工した糸から作った製品を営業ツールとして使い提案力を増し技術を売って行く。同時に自ら製品を作るメーカーの機能を持つことができる。

正直、セーターなどの製品を作ることは今までも行われてきているありふれた仕事ですが、染工場が今まで

培ってきた自社の加工技術を発信する為に、社内で一貫した製品開発し、海外を視野に入れ活動している点が評価されたのかなと思います。

ただアントレプレナー賞を頂く際に、まず応募したのですが、その書類作成を終え3月に提出した後、書類作成の過程で自分自身で中途半端に総括してしまったため、袋小路に入りこんでしまった気持ちになりました。次の展開が、なかなか閃かなかったのですが、偶然知り合いが、弊社と同様の編み機を導入し起業したいとの相談を受け、話し合いの結果弊社工場内の空きスペースに入居して頂けることになりました。その方は前に勤めていた会社の先輩なのですが、もともと編みや製品作りに詳しい方で、相談相手として協力して事業を進めて行けそうです。

別の方からは(頼んだわけではないのですが)弊社の現状を分析しデザイナーを紹介して頂きました。何名かの候補の中から、弊社にかけている部分を補える方と出会うことが出来たので社内でのモノづくりは加速して行きそうです。

本当に人のつながりは有難く、そんな出会いがあり、これからまた前進してやっていけそうです。

ちょうどアントレプレナー賞を頂いた日に、和歌山県に海外バイヤーが集まる商談会があったのですが、そこで弊社の初めての製品を出展したところ、イタリアのフランコ・フェラーロというブランドのオーナーに極少数ですが取り上げて頂くことになりました。年末にイタリアの店頭に並ぶ予定です。今後は2月にイタリアの展示会に出展するべく開発を続けています。

クラブのこと

この一年、山本会長と一緒にクラブを運営してきました。山本会長とは10年来の付き合いですが、多分私とは(いい意味で)価値観やモノの見方において違う点が多々あるので、お互いバランスよくうまくフォローしあえたかなと思っています。

今期は、地区との問題が収束に向かいつつも、まだガバナーエレクトの問題に解決の道が見えない状態での出発でした。今年度は幹事としてクラブのお金を預かっている立場ですから、予算立案とその実行ということに一番注力しました。

正直なところ、当クラブでも理事会で物事をきっちり決めようとする際に「ロータリーは親睦や」という声であやふやに物事が進みそうになることもあったのですが、僕が思うのはロータリーが親睦であるなら、例会等でみなさんに親睦を楽しんでもらうためには、余計に理事会で物事をきちんと決めておくことが必要だと思い、堅苦しく理事会を進行してきました。この点においては、山本会長もきっちりとした性格なので理解して頂き、クラブ運営に関してはちゃんとできたかなと思っています。

今年の事業として思い出深いのは、先日の和歌山ロータリークラブとの合同例会でしょうか。今までなかったのが不思議なくらいですが、親クラブとの合同例会ができたことは、今期山本年度の実績として嬉しく思っています。

もうひとつ思い出深いのは、こぼと学園とのミカン狩り&バーベキューです。もちろん毎年楽しい行事なのですが、今年はミカン畑がイノシシに襲われてミカンが非常に少ない中でのミカン狩りでした。子供たちに申し訳ない気持ちでいっぱいだったのですが、後日送られてきた子供たちの感謝状を読んで感動しました。

イノシシに荒らされたミカン畑でのミカン狩りに対して、果樹園に残っていた「貴重なミカンを食べれて良かった」という感想がありました。この言葉は何より嬉しかったです。

まだあと1ヶ月ありますが、充実した1年でした。あと少しよろしく願いいたします。